



劇場  
東京・両国 シアターXカイ  
東京都墨田区両国2-10-14 両国シテイコア  
TEL 03-5624-1181  
JR総武線両国駅西口下車、左へ徒歩約3分

日程  
2015.11.6 [金] 19:30  
11.7 [土] 14:00 / 19:00  
11.8 [日] 14:00  
受付開始は開演30分前、開場は15分前

公演情報

主催：一般社団法人大橋可也&ダンサーズ  
助成：芸術文化振興基金  
協力：公益財団法人セゾ文化財団  
平成27年度（第70回）文化庁芸術参加公演

チケット発売日 10.8 (木)  
大橋可也&ダンサーズウェブサイト上、申込みフォームからご予約ください。

料金  
一般 3500円  
U29 (29歳以下) 3000円  
当日 4000円  
全席自由・整理番号付き

ウェブサイト  
KAKUYAOHASHI-AND-DANCERS.TUMBLR.COM  
danceharcore.com  
/kakyaohashianddancers  
@DancersOffice

お問い合わせ  
大橋可也&ダンサーズ  
TEL 03-6905-9264  
office@danceharcore.com

振付・構成・演出 大橋可也  
音楽 大谷能生  
大谷能生  
吉田ミ生  
大橋可也  
山縣大暁  
阿部遥  
檀上真帆  
後藤ゆ帆  
後藤海春  
正木悠太  
今津雅晴  
皆木正純  
吉田ミ生  
大谷能生

制作協力 小松香里  
監修 古郡大慶  
舞臺監督 新井友美  
音響 及川佳子  
照明 原川紀政  
衣装 牛藤清敏  
美術 遠藤清敏  
ROCCA WORKS  
大塚英輔+鴉尾屋  
石塚俊  
山本博士

大橋可也 & ダンサーズ  
イタズカ

2015.11.6 [金] 8 [日]  
シアターXカイ 提携公演

言葉を疑い身体を取り戻す。



極北のダンスカンパニー大橋可也 & ダンサーズ、  
次なる挑戦はウィリアム・シェイクスピア最後の戯曲『テンペスト』。

大橋可也 & ダンサーズ

# テンペスト

配役について

「吉田アミ、か、大谷能生」名義で『デジタル・ディスレクシア』を  
発表したばかりの、大谷能生と吉田アミを、それぞれ主人公プロスペロー、  
妖精エアリエルに抜擢。言葉／文字／声が舞台空間を交錯する。  
主人公の娘ミランダと怪物キャリバンには、  
カンパニー・マリー・シュイナールやルイズ・ルカヴァリエとのデュオなど  
国内外で活躍するダンサー今津雅晴、チェルフィッチュの看板俳優で、  
作・演出『海底で履く靴には紐が無い』を発表した山縣太一、  
大橋可也 & ダンサーズの歴代作品における主要な役を務めてきた皆木正純など  
複数の出演者が担い、その存在の多面性を描き出す。

## 大橋可也 & ダンサーズ (おおはしかくやあんどだんさーず)

1999年結成、ハードコアダンスを提唱し、暗黒舞踏にもとづく独自の  
方法論によって現代社会における身体を探求している。2008年に  
発表した『帝国、エアリアル』では、関連するフリーペーパーを制作、  
配布するなど、舞台芸術の枠組みを超えた活動をおこなう。2013年、  
日本SF界を代表する作家、飛浩隆による長編小説『グラン・ヴァカ  
ンス』をダンス作品化。江東区を舞台にしたリサーチにもとづくプ  
ロジェクト「ザ・ワールド」を進行中。

## イベント あらしの前に

大谷能生、吉田アミ、大橋可也と特別ゲストによるイベントを開  
催します。本公演に先立ち、パフォーマンス、ライブ、トークで言葉と  
身体の関係を探ります。あらしの前の一夜に、どうぞお立会いください。

※ゲストはウェブサイトにて近日発表

2015.10.9 (金) 19:30

pit 北 / 区域 北区王子1-13-18 王子駅北口5分・5番出口1分

出演 大谷能生、吉田アミ、大橋可也 ほか  
+特別ゲスト(予定)

料金 予約：2000円 当日：2500円

予約 ウェブサイト (dancehardcore.com) 申込みフォーム

協力 東京バビロン

## ウェザーリポーター 募集中!

イベントでは、あらしの前の一夜を体感していただき、あらしの  
予兆をレポートする「ウェザーリポーター」を募集しています。ご参加  
いただいた方には、本公演のご招待券を進呈。レポートは500字程度  
で、ご自身の媒体とテンペスト特設サイトにて掲載いただく予定です。  
詳細はウェブサイトから。 ※限定10名

LINE

オリジナル  
スタンプ、10月中旬頃より配信を予定!



出演者の大谷能生(プロスペロー)、吉田アミ(エア  
リエル)、大橋可也などをモチーフとしたオリジナル  
LINEスタンプ、全40種を制作しました。重厚で示  
唆に富んだ戯曲中のセリフを日々のやりとりにご  
活用いただけます。ぜひダウンロードを!

LINEスタンプご購入のお客さまは、本公演のチ  
ケット購入時に500円割引いたします。詳細は  
ウェブサイトから。

イラスト:koya(賢者)

作品紹介

近代科学革命の予感が漂い、アメリカ新大陸の植民地経営が本格化した  
時代の英国で書かれた『テンペスト』は、シェイクスピア最後の単独作品だ。

たくらみによりミラノ大公の地位を奪われ、  
孤島に流された主人公プロスペローは、  
研究の果てに身に付けた魔術をもって仇敵に復讐をする。  
彼の復讐は、妖精エアリエルを操って嵐を起こし、  
仇敵である彼の弟やナポリ国王らを乗せた船を難破させることから始まる。  
まずは政略婚。プロスペローの仕掛けによって、  
娘のミランダとナポリの皇太子ファーディナンドは惹かれ合い、愛を誓う。  
その上で、エアリエルの力で次々と怪現象を起こして仇敵を懲らしめる。  
彼の計画にとって想定外だったのは、怪物キャリバンの反抗だ。  
プロスペローから言葉を教えられることで手なづけられ、  
挙句には、奴隷のように使われていたキャリバンは、  
新たな主人を見つけてプロスペローの打倒を夢見るようになる。

主人公は無事に復讐と和解を果たすが、争いを象徴するチェスで  
無邪気に遊ぶミランダとファーディナンドの姿には、  
その実、親世代に続く権力争いの影が差しているのかもしれない。

ドラマトゥルク・山本博士